

# 2018年西日本豪雨災害支援報告

## 2018 West Japan heavy rain disaster relief report

坂本八千代

Yachiyo SAKAMOTO

2018年7月、晴れの国岡山で、しかもくらしき作陽大学のすぐ隣の真備町で大きな豪雨災害が発生した。広島、愛媛でも予期せぬ災害に見舞われた。日本栄養士会災害支援チームJDA-DATは国内外で大規模な自然災害（地震、台風など）が発生した場合、迅速に被災地内の医療・福祉・行政栄養部門と協力して、状況に応じた栄養・食生活支援を通じ、被災地支援を行うことを目的としている。公益社団法人岡山県栄養士会では岡栄DATの研修も進めており、筆者はその責任を務めている。この災害で行った支援の記録をまとめ残しておきたいと考える。

In July 2018, a heavy rainfall disaster occurred in “ the Sunny Country” Okayama and Mabi town, which is right next to Kurashiki Sakuyo University. Hiroshima and Ehime were hit by unexpected disasters. In the event of a large-scale natural disaster ( earthquake, typhoon, etc.) at home and abroad ,the Japan Dietetic Association Disaster Support Team JDA-DAT quickly cooperated with the medical ,welfare and administrative nutrition department within the affected area, depending on the situation. Through nutrition and dietary support, the aim is to assist the affected areas. Okayama Prefectural Dietic Association is also conducting training for Okaei DAT, and the author is responsible for it. I would like to keep a record of the support provided in this disaster.

### 1. 支援活動

晴れの国岡山が突然の水害で思いもよらぬ災害を経験した。6月に（公社）岡山県栄養士会会長を拝命した翌月で何もかもあわただしく動き回ったように記憶している。何とか乗り越えたこの災害支援を振り返ることになった。

平成30年7月7日（土）、平成30年度静脈経腸栄養（TNT-D）研修会の担当で東京出張中に携帯電話で真備記念病院が水害で孤立、水がないと連絡が入った。テレビを見ていた（公社）岡山県栄養士会事務局員が水没した真備の様子からこれは大変と気が付いてくれたことから始まった。雨は、前日の6日から降り続いており、7日19時には岡山市南区の笹ヶ瀬川の堤防が決壊しそうで、避難勧告が出たと娘からの連絡があった。岡山県災害緊急連絡の警告音が何度も鳴っていた。23時ごろには最大限の警報が出ていた。離れていると全く想像できないことだった。支援に必要な水の手配を岡山県に連絡するも土日の休日では対応が取れないとのことで月曜日になった。7月9日（月）、勤務先であるくらしき作陽大学に出勤。朝7時前、大学近くのコンビニで目の当たりにしたのが、十数台のポンプ車、作業車、救急車など災害支援に向かう車列だった。（図1）被災地であることを実感した瞬間だった。岡山で、しかも今自分のいるすぐ近くで災害が起きている、被災した！何をどうしたらいいか、頭の中をまとまらないままどうするどうするが駆け巡っていた。7月9日、（公社）日本栄養士会災害対策本部立ち上げ、岡山県災害対策本部立ち上げと同時に動き始めた。本来であれば「（公社）岡山県栄養士会災害対策本部立ち上げました！」の宣言が必要であったのだが、先に動き始めていた。

（公社）日本栄養士会からの会員の安否確認のためにメールで連絡を取ったが、「この災害時に！」

とおしかりを受けることもあり、理想と現実の間で思案することが多かった。岡山県健康推進課高原副参事と連絡を頻繁に取りながら、何とか災害支援活動に取り組んだ。日頃から（公社）岡山県栄養士会と協力して活動し、平成18年（2016年）熊本地震の災害支援も経験したJDA-DATのメンバーを中心に、岡山県栄養士会災害支援チーム（岡栄DAT）のメンバーに連絡し支援活動を開始した。

今回の大きな問題の2つが暑さとの戦いと人員の確保だった。JDA-DATの赤いユニフォームは通気性が悪く暑くて野外活動ではどうにも着ていられなかったため、ビブスを調達した。また、支援メンバーの調整は日程調整に時間がかかった。一人職場が多いことや、勤務が決まっていることが原因と思われる。3名1チームで運転、ナビ、連絡係を担当した。職場の理解があるところには何度もお願いすることになった。

表2に示したように、（公社）岡山県栄養士会の支援は8月3日に避難所訪問を終了し、災害支援船「はくおう」の支援を8月14日下船し、支援を終了した。また、倉敷市は12月13日に最後の被災者が避難所から退所し14日災害対策本部を解散した。



図1. 平成30年7月9日午前7時前からしき作陽大学付近



図2. くらしき作陽大学食文化学部栄養学科に設置した特殊栄養食品ステーション

## 2. 災害支援の記録

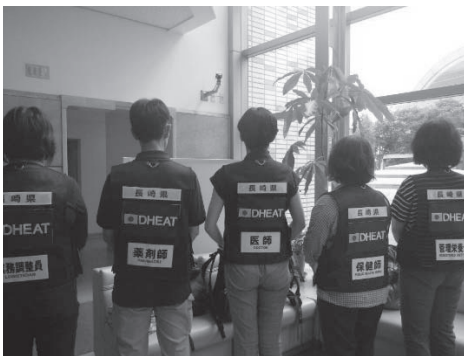


図3. DHEAT長崎メンバー

表1. 災害支援に参加した会員

月日	7月 11日	7月 12日	7月 13日	7月 14日	7月 15日	7月 16日	7月 17日	7月 18日	7月 19日	7月 20日					
派遣 場所	高梁	高梁・ 倉敷	倉敷市保健所												
人数	1	2	4	3	3	4	4	3	4	4	5				
月日	7月 21日	7月 22日	7月 23日	7月 24日	7月 25日	7月 26日	7月 27日	7月 28日	7月 29日	7月 30日	7月 31日	8月 1日	8月 2日	8月 3日	
派遣 場所	備中保健所														
人数	4	4	4	3	3	3	3	3	台風のため 中止		3	1	2	3	
月日	8月3日～4日		8月5日～6日		8月7日～8日		8月14日～15日								
派遣 場所	はくおう														
人数	1		1		1		1								

表2. 7月11日からの活動状況

KuraDRO：倉敷地域災害保健復興連絡会議（Kurashiki Disaster Recovery Organization）

月日	活動場所	活動者数	活動内容
7月11日	高梁地区	1名	会員からの依頼で、炊き出しや弁当の衛生管理、支援物資の手配、喫食状況確認
12日	高梁地区	2名	支援物資の確認と整理、弁当等への衛生管理、喫食状況確認
	倉敷市保健所	4名	JDA-DAT河村号が神戸からくらしき作陽大学へ来る。KuraDROへ挨拶。支援チームに参加。
13日	倉敷市保健所	3名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（岡田小、蘭小、二万小）→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO
14日	倉敷市保健所	3名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（連島南中、第5福田小、第2福田小）→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO
15日	倉敷市保健所	4名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（岡田小、蘭小、吉備路クリーンセンター）→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO
			KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（清音公民館、サンワーク総社）→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO
16日	倉敷市保健所	4名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（二万小、船穂小、連島南中、連島南小）→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（清音公民館）→資料作成、話し合い→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO
17日	倉敷市保健所	3名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（岡田小、蘭小）→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO
18日	倉敷市保健所	4名	KuraDRO→災害支援コーディネーターによるニーズをすくい上げるための会議、アセスメントシート作成
19日	倉敷市保健所	4名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（岡田小、蘭小、二万小、第5福田小）→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO
20日	倉敷市保健所	5名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（サンワーク総社、清音公民館、山手公民館）→報告書作成→特殊栄養食品在庫確認→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO、18時から第2福田小夕食の様子を見学
21日	備中保健所	3名+ 1名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（清音公民館、サンワーク総社、連島南中、第5福田小、第2福田小）→報告書作成
22日	備中保健所	4名	KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（蘭小、二万小、久代分館）→報告書作成→17時から保健師チーム報告会、18時からKuraDRO
			KuraDRO→打ち合わせ→要配慮者への訪問（第2福田小、サンワーク総社、清音公民館）→報告書作成→特殊栄養食品在庫確認 （23日からKuraDROは県南西部災害保険医療活動調整本部へ組織変更）
23日	備中保健所	4名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（岡田小、清音公民館、サンワーク総社）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
24日	備中保健所	3名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（岡田小、サンワーク総社）→報告書作成→特殊栄養食品在庫確認→17時倉敷市保健所保健師報告会

月日	活動場所	活動者数	活動内容
25日	備中保健所	3名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（清音公民館にて面接指導）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
			県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（山手公民館、吉備路クリーンセンター）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
26日	備中保健所	3名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（蘭小、連島南中、第2福田小）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
27日	備中保健所	3名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（山手公民館、清音公民館、総社市役所、蘭小）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
28日	備中保健所	3名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（山手公民館、清音福祉センター、清音公民館、サンワーク総社、岡田小）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
29～30日	備中保健所		台風のため支援活動中止
31日	備中保健所	3名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（蘭小、岡田小、吉備路クリーンセンター、二万小）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
31日 8月1日	備中保健所 備中保健所	3名 1名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（連島東小、連島南中、第5福田小、第2福田小、福田中、連島南小）→報告書作成
			県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（総社中央公民館、勤労青少年ホーム、サンワーク総社、清音福祉センター、清音公民館、山手公民館）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
2日	備中保健所	2名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者確認作業→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会
3日	備中保健所	2名 +1名	県南西部災害保健医療活動調整本部会議→打ち合わせ→要配慮者への訪問（西公民館、久代公民館、昭和公民館）→報告書作成→17時倉敷市保健所保健師報告会出席し、活動終了することを報告
3日～4日	はくおう	1名	全体ミーティング、食事の説明、個別対応聞き取り、栄養相談、食事時の衛生管理、全体ミーティング後下船 個別対応1件
5日～6日	はくおう	1名	全体ミーティング、食事の説明、個別対応聞き取り、栄養相談、食事時の衛生管理、全体ミーティング後下船 個別対応3件
7日～8日	はくおう	1名	全体ミーティング、食事の説明、個別対応聞き取り、アセスメント、栄養相談、食事時の衛生管理、全体ミーティング後下船 容態急変者対応 個別対応3件
13日～14日	はくおう	1名	全体ミーティング、食事の説明、個別対応聞き取り、栄養相談、食事時の衛生管理、全体ミーティング後下船 個別対応2件 栄養相談2件

表3. 支援物資

①（公社）日本栄養士会  
乳幼児用

分類	商品名	規格	ケース入数	送付ケース数	数量	対象月齢	備考	持ち出し (日付、数量、場所)
育児用調製粉乳	はいはい ステイックパック	13g×10	24	2	48	0か月～		7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/23 1ケース 備中保健所
フォローアップミルク	ぐんぐん ステイックパック	14g×10	24	2	48	9か月～	冷水可溶、牛乳の代替飲料として	7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/23 1ケース 備中保健所
調製粉末大豆乳	ボンラクト i	360g	12	2	24	0か月～	乳・乳糖 不使用	7/13 4 ぐらしき作陽 7/23 20 備中保健所
レトルトベビーフード	洋風ベビーランチ	80g×2	24	1	24	7か月～	7大アレルギーフリー、カップ入りスプーン付	7/15 6 倉敷市保健所 7/17 10 備北保健所 7/24 8 備中保健所
レトルトベビーフード	彩り野菜のベビーランチ	80g×2	24	1	24	7か月～	7大アレルギーフリー、カップ入りスプーン付	7/15 6 倉敷市保健所 7/17 10 備北保健所 7/24 8 備中保健所
レトルトベビーフード	和風弁当	80g×2	24	1	24	9か月～	7大アレルギーフリー、カップ入りスプーン付	7/15 6 倉敷市保健所 7/17 10 備北保健所 7/24 8 備中保健所

## 2018年西日本豪雨災害支援報告

分類	商品名	規格	ケース 入数	送付 ケース数	数量	対象 月齢	備考	持ち出し (日付、数量、場所)
レトルト ベビーフ ード	鮭のホワイト シチュー弁当	80g×2	24	1	24	9か月～	7大アレルギーフ リー、カップ入りス プーン付	7/15 6 倉敷市保健所 7/17 10 備北保健所 7/24 8 備中保健所
レトルト ベビーフ ード	田舎風弁当	110g・ 80g	24	1	24	12か月～	7大アレルギーフ リー、カップ入りス プーン付	7/15 6 倉敷市保健所 7/24 18 備中保健所
レトルト ベビーフ ード	五目中華丼 セット	110g・ 80g	24	1	24	12か月～	7大アレルギーフ リー、カップ入りス プーン付	7/15 6 倉敷市保健所 7/24 18 備中保健所
レトルト ベビーフ ード	鮭と根菜の五目 ごはん弁当	130g・ 80g	24	1	24	1歳 4か月～	7大アレルギーフ リー、カップ入りス プーン付	7/15 6 倉敷市保健所 7/24 18 備中保健所
レトルト ベビーフ ード	具だくさん 豚汁弁当	130g・ 80g	24	1	24	1歳 4か月～	7大アレルギーフ リー、カップ入りス プーン付	7/15 6 倉敷市保健所 7/24 18 備中保健所
赤ちゃん おやつ	小魚せんべい	2枚×6	24	2	48	7か月～	7大アレルギーフ リー	7/15 1ケース 倉敷市保健所 7/23 1ケース 備中保健所
1歳から のおやつ	わかめせんべい	6g×3袋	24	2	48	1歳～	7大アレルギーフ リー	7/15 1ケース 倉敷市保健所 7/24 1ケース 備中保健所
ベビー用 イオン飲 料	アクアライト りんご	500ml	24	4	96	3か月～	7大アレルギーフ リー	7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/15 1ケース 倉敷市保健所 7/23 1ケース 備中保健所 7/24 1ケース 備中保健所

## 要介護者用

分類	商品名	規格	ケース 入数	送付 ケース数	数量	UDF 区分	備考	持ち出し (日付、数量、場所)
トロミ 調整食品	とろみエール	2.5g× 30	12	1	12	とろみ 調整		7/13 6 ぐらしき作陽 7/24 6 備中保健所
介護食	かに雑炊	100g	24	2	48	舌でつ ぶせる		7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/15 1ケース 倉敷市保健所
介護食	鯛雑炊	100g	24	2	48	舌でつ ぶせる		7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/15 1ケース 倉敷市保健所
介護食	鶏五目雑炊	100g	24	2	48	舌でつ ぶせる		7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/15 1ケース 倉敷市保健所
濃厚 流動食	栄養プラス プレーンヨーグ ルト味	125ml	24	2	48			7/13 1ケース ぐらしき作陽
濃厚 流動食	栄養プラス いちごヨーグル ト味	125ml	24	2	48			7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/23 1ケース 備中保健所
濃厚 流動食	栄養プラス ブルーベリーヨ ーグルト味	125ml	24	2	48			7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/23 1ケース 備中保健所
口腔ケア	口腔ケアウエツ ティー	100枚	12	3	36			7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/23 1ケース 備中保健所

分類	メーカー名	商品名	規格	バラ 数量	ケース 入数	学会 分類	持ち出し (日付、数量、場所)
	太陽化学(株)	サンファイバー スティック	6g× 30	10	1	—	7/13 バラ5箱 備中保健所 7/14 バラ5箱 備北保健所
おかゆ	ヘルシーフード(株)	快食応援団 なめらかおかゆ	200g	40	1	2-1	7/13 バラ10 ぐらしき作陽 7/15 バラ30 倉敷市保健所
	(株)フードケア	ふっくら 白がゆ	200g	60	3	3	7/13 1ケース ぐらしき作陽 7/15 2ケース 倉敷市保健所
おかず	キューピー(株)	やさしい献立 なめらかおかず 大豆の煮もの	75g	36	1	2-1	7/13 バラ12 ぐらしき作陽 7/15 バラ24 倉敷市保健所
	ホリカフーズ(株)	おいしくミキサー 豚肉やわらか煮	50g	12	1	2-1	7/13 バラ6 ぐらしき作陽 7/15 バラ6 倉敷市保健所

分類	メーカー名	商品名	規格	バラ数量	ケース入数	学会分類	持ち出し (日付、数量、場所)
	キューピー (株)	やさしい献立 やわらかおかず 肉じゃが	80g	36	1	3	7/13 バラ12 ぐらしき作陽 7/15 バラ24 倉敷市保健所
	アサヒグループ食品 (株)	バランス献立 かぼ ちの鶏そぼろ煮	100g	24	1	3	7/13 バラ12 ぐらしき作陽 7/15 バラ12 倉敷市保健所
	アサヒグループ食品 (株)	マルチビタミン、 ミネラル	300粒	24	1	24	7/13 バラ6 ぐらしき作陽 7/15 バラ18 倉敷市保健所

分類	商品名	規格	ケース入数	送付 ケース数	数量	備考	持ち出し (日付、数量、場所)
濃厚流動食	メイバランス (コーヒー味)	125ml×12本	12	2	24		7/24 2ケース 備中保健所
濃厚流動食	メイバランス (ヨーグルト味)	125ml×12本	12	2	24		7/24 2ケース 備中保健所
濃厚流動食	メイバランス (抹茶味)	125ml×12本	12	2	24		7/24 2ケース 備中保健所
濃厚流動食	メイバランス (バナナ味)	125ml×12本	12	2	24		7/24 2ケース 備中保健所
濃厚流動食	メイバランス (ストロベリー味)	125ml×12本	12	2	24		7/24 2ケース 備中保健所
濃厚流動食	メイバランス (ストロベリー ヨーグルト味)	125ml×12本	12	4	48		7/23 2ケース 備中保健所
濃厚流動食	メイバランス (ブルーベリー ヨーグルト味)	125ml×12本	12	4	48		7/23 4ケース 備中保健所
濃厚流動食	メイバランス (マスカットヨーグルト味)	125ml×12本	12	4	48		7/23 2ケース 備中保健所
濃厚流動食	メイバランスカップゼリー (ストロベリー味)	58g×24個	24	4	96		7/19 48 まきび病院 残り 48 7月中にまきび病院
濃厚流動食	メイバランスカップゼリー (ぶどう味)	58g×24個	24	4	96		7/19 48 まきび病院 残り 48 7月中にまきび病院
濃厚流動食	メイバランスカップゼリー (バナナ味)	58g×24個	24	4	96		7/19 48 まきび病院 残り 48 7月中にまきび病院

## ② (株) 誠屋

分類	商品名	規格	バラ数量	ケース数量	数量	備考	持ち出し (日付、数量、場所)
野菜 ジュース	カゴメ「野菜一日これ一本」	200ml ×24本	24	38	912		7/19 432本 (18ケース) 備中保健所 7/19 312本 (13ケース) まきび病院 7/24 168本 (7ケース) 備中保健所

## ③熊本第一病院

分類	商品名	規格	ケース入数	送付 ケース数	数量	備考	届け先
アルファ米	安心米 (五目ご飯)				400袋		倉敷市保健所
アルファ米	安心米 (白飯)				250袋		
アルファ米	安心米 (梅がゆ)				90袋		
アルファ米	Onisi (尾西のわかめごはん)		50袋	3	150袋	1袋2名分	
	海老と貝柱のクリーム煮				36袋		
	鮭と野菜のかきたま				36袋		
	肉じゃが				36袋		
	さんまのかば焼き				30個	60名分	
	さば水煮缶				48個	144名分	
	安心缶けんちん汁		6缶	2			
水	ペットボトル	500ml	24本	5			
	ペットボトル	2L	6本	10			
割りばし					160		
タオル					5		
紙コップ					600		

## ④（公社）東京都栄養士会

メーカー名	商品名	規格	ケース入数	送付ケース数	数量
(株) 明治	いきいきセサミン		36	20	720
カゴメ (株)	野菜生活100		36	20	720

## 3. 反省点

- ・災害対策マニュアルの整備が遅れており、いきなりぶっつけ本番であった。連絡手段に個人の携帯を使わざるを得なく、連絡通信費の計上ができていなかった。
- ・JDA-DATの使命として行政栄養士の支援が挙げられるが、調整がなかなか取れず動きが悪くなってしまった。これについては災害派遣医療チーム（DMAT）連絡調整担当者、図4.に示した災害時健康危機管理支援チーム（DHEAT）のメンバーを巻き込み話し合いを持ったが、動きが改善するには時間がかかった。災害地区が倉敷市と総社市にまたがり、倉敷市保健所、備中保健所の両方との調整もあったと思われる。

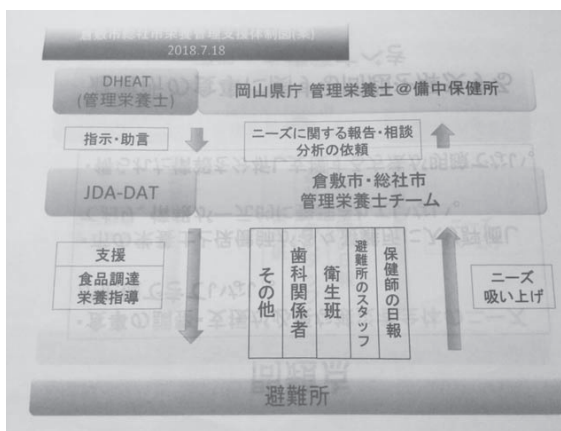


図4. 災害支援連携の案

- ・アレルギー対応について、岡山大学病院小児科池田医師からも支援の情報を頂いたが、被災者からの要請がなく、実家などに避難されていたと考えられた。
- ・水溶性食物繊維、ビタミン剤などの実際の配布は保健師が行っており、かなり配布されたが、実際の効果について検証ができていないことが残念に思われる。

## 4. 最後に

表3.に示した支援物資については、（公社）日本栄養士会、（株）誠屋、熊本第一病院、（公社）東京都栄養士会の各団体から届けていただき心から感謝申し上げます。また、活動に対してご理解ご支援いただいた、くらしき作陽大学に厚く御礼申し上げます。また、協力していただいた会員の皆様に厚く御礼申し上げます。今後の目標は岡山県栄養士会として予測できない災害に対して早急に対策マニュアルの完成を掲げている。

